

## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日

上場会社名 株式会社TORICO 上場取引所 東  
コード番号 7138 URL https://www.torico-corp.com/  
代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 安藤 拓郎  
問合せ先責任者(役職名) 上級執行役員管理部長(氏名) 中道 智宏 (TEL) 03-6261-4346  
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	955	△13.6	△29	—	△30	—	△35	—
2023年3月期第1四半期	1,106	—	30	—	30	—	20	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △32百万円( —%) 2023年3月期第1四半期 20百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△28.94	—
2023年3月期第1四半期	16.42	14.93

(注) 1. 2022年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2024年3月期第1四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,064	1,105	53.5
2023年3月期	2,247	1,164	51.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,103百万円 2023年3月期 1,162百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	5,465	9.2	55	△57.2	51	△60.5	34	△54.1	27.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	1,258,100株	2023年3月期	1,242,820株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	53,800株	2023年3月期	23,400株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	1,213,448株	2023年3月期1Q	1,231,814株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明資料の入手方法について)

四半期決算説明資料については、TDnet及び当社ウェブサイトのIR情報(<https://www.torico-corp.com/ir/>)で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが第5類へと引き下げられ、コロナ禍による経済社会活動への制約がほぼ解消され、内需を中心に景気は緩やかな回復基調を維持しました。一方で、グローバルでの地政学リスクやインフレなどによる景気減速リスクは依然として高く、さらに日本国内においては、急速な円安による経済への悪影響や物価高が懸念材料となるなど、先行きの見通しにくい経営環境が続いています。

当第1四半期連結累計期間の当社主力のECサービスの属する市場環境においては、アフターコロナでの行動制限の緩和と共に外出を伴う消費行動が正常化に向かう一方で、巣ごもり需要が完全に終息したこと及び物価や電気代の上昇等が消費者の家計を圧迫している状況等から、出版流通業界全体において市場規模が前年比を下回る状況が当第1四半期連結累計期間も継続している状況です。

公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所が発刊している出版指標2023年夏号によると、当第1四半期連結累計期間にあたる2023年4月～2023年6月の書籍雑誌推定販売金額は、前年同期比9.8%減となっており、当社が属する紙コミックス市場の販売規模も当第1四半期連結累計期間の平均が前年同期比で約13%減（4月は前年同期比で16%減、5月は前年同期比で11%減、6月は前年同期比で12%減）の状況となっております。

そのような環境の中で、当第1四半期連結累計期間における当社の売上高も、上記の市場環境に加え2023年春のアニメ化からブームとなった「推しの子」等のヒット作が新規で売上貢献したものの相対的に前年同期よりも売上を牽引するヒット作に乏しい時期となった事もあり、通期の売上高は、コミックス市場全体の減少傾向と同水準で前年同期比を下回る結果となりました。

主力ECサービスの主要なKPIについては、当第1四半期連結累計期間を通しての当社サービスのECサイトに訪れるユーザー数は9.7百万人（前年同期間10.2百万人、前年同期比5.4%減）となり、大型ヒット作の不在等の要因により、アフターコロナにおいても拡大を維持してきたユーザー数も前年同期比で減少となりました。またECサービスの購買率についても0.89%（前年同期間0.95%、前年同期比0.059pt減）と前年同期と比較して低下が続いており、巣ごもり需要の反動で減速した前期と比較しても、さらに購買目的を持ったユーザーが減少している傾向が継続しており、当第1四半期連結累計期間においても売上減少となったと考えております。

一方で、当社グループが今後の成長サービスとして位置付けるイベントサービスについては、当第1四半期連結累計期間におきましては、国内では営業開拓人材の補強を行うと共に有力IPの開拓を進め、グッズ製造体制の強化を並行して行いながら、IP商品化と関連グッズの製造販売の推進を行いました。また海外市場に向けては前期に進出した台湾店舗の売上が拡大しつつある中で、シンガポール市場への参入の準備を進めており、その他欧米、中国への越境ECの開店準備を行っております。また商品戦略におきましても、商材の幅を広げ海外市場向けにフィギュアやトレーディングカードの取り扱いを開始致しました。このような取り組みの結果、同サービスの売上高は、前年同期比で11.8%増と成長を持続しました。

上記の施策の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は955,910千円（前年同期比13.6%減）営業損失は29,777千円（前年同期は30,463千円の営業利益）、経常損失は30,940千円（前年同期は30,351千円の経常利益）、四半期純損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失は35,116千円（前年同期は20,137千円の四半期利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益）。

注. 当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の業績の状況については記載しておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は2,064,168千円(前連結会計年度末比183,220千円減)となりました。総資産の内訳は、流動資産が1,831,379千円(前連結会計年度末比243,149千円減)、固定資産が232,788千円(前連結会計年度末比59,928千円増)であります。主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ、流動資産は、取引の減少等に伴い、現金及び預金が217,423千円減少、売掛金が96,774千円減少したこと、一方で第2四半期以降の需要増加に向けた在庫準備で商品が68,978千円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は、イベントサービス拡大の為の設備投資の実施で有形固定資産が11,295千円増加したこと、自社サービス関連の開発活動の実施でソフトウェア仮勘定等が増加したことにより、無形固定資産が3,896千円増加したこと、本社及び物流倉庫の移転に伴い敷金が増加したことにより、投資その他の資産が44,735千円増加しました。

### (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は958,344千円(前連結会計年度末比124,108千円減)となりました。負債の内訳は、流動負債が563,312千円(前連結会計年度末比102,255千円減)、固定負債は395,032千円(前連結会計年度末比21,852千円減)であります。主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ、流動負債は、取引の減少により買掛金が42,965千円減少及び未払金が30,673千円減少したこと、納税の実施により未払法人税等が5,003千円減少したこと等によるものであります。固定負債は、借入金の返済により長期借入金が26,770千円減少したこと等によるものであります。

### (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,105,823千円(前連結会計年度末比59,112千円減)となりました。主な変動要因は、新株予約権(ストック・オプション)の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ5,684千円増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純損失等の計上に伴い利益剰余金が35,116千円減少したこと、自己株式の取得により純資産が37,737千円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第1四半期連結累計期間時点での進捗状況は当該予想を下回って推移しておりますが、第2四半期以降の国内外を含めたイベントサービスの継続的な拡大を想定しており、2023年5月12日の「2023年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,062,248	844,825
売掛金	322,080	225,305
商品	635,644	704,623
その他	58,119	59,118
貸倒引当金	△3,564	△2,493
流動資産合計	2,074,529	1,831,379
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	35,710	35,542
その他（純額）	22,737	34,200
有形固定資産合計	58,447	69,743
無形固定資産		
その他	41,210	45,107
無形固定資産合計	41,210	45,107
投資その他の資産		
繰延税金資産	38,973	35,363
その他	34,228	82,574
投資その他の資産合計	73,201	117,937
固定資産合計	172,860	232,788
資産合計	2,247,389	2,064,168

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	312,053	269,087
1年内返済予定の長期借入金	106,497	106,497
未払金	124,251	93,577
未払法人税等	6,303	1,300
契約負債	44,676	40,023
その他	71,786	52,826
流動負債合計	665,567	563,312
固定負債		
長期借入金	416,106	389,336
資産除去債務	779	783
その他	—	4,913
固定負債合計	416,885	395,032
負債合計	1,082,453	958,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	183,217	188,901
資本剰余金	513,909	519,593
利益剰余金	491,682	456,566
自己株式	△26,854	△64,592
株主資本合計	1,161,954	1,100,468
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	735	3,108
その他の包括利益累計額合計	735	3,108
新株予約権	2,246	2,246
純資産合計	1,164,935	1,105,823
負債純資産合計	2,247,389	2,064,168

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	1,106,716	955,910
売上原価	703,028	609,904
売上総利益	403,688	346,006
販売費及び一般管理費	373,224	375,783
営業利益又は営業損失(△)	30,463	△29,777
営業外収益		
受取利息	0	11
受取配当金	1	1
コイン失効益	596	749
その他	404	303
営業外収益合計	1,001	1,065
営業外費用		
支払利息	1,027	1,817
その他	86	410
営業外費用合計	1,114	2,227
経常利益又は経常損失(△)	30,351	△30,940
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	30,351	△30,940
法人税、住民税及び事業税	1,680	566
法人税等調整額	8,534	3,609
法人税等合計	10,214	4,176
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,137	△35,116
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	20,137	△35,116



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,137	△35,116
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	2,373
その他の包括利益合計	—	2,373
四半期包括利益	20,137	△32,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,137	△32,742
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。